

令和4年度 神戸大学附属図書館資料展

古典籍でみる

鎖国下の漂流

展示品目録

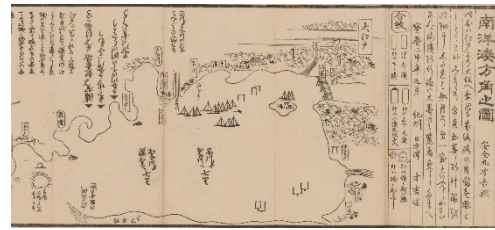
前期:令和4年10月14日(金)~11月10日(木)

後期:令和4年11月16日(水)~12月20日(火)

社会科学系図書館2階展示ホール

1. 漂流の背景

江戸時代に船の漂流が頻発した原因を、当時の専門書も交えて説明します。鎖国や廻船航路の発展という状況をもとに、内海航行に適した和船の特性と、近代的な航海術が船乗りに普及しなかったことを主な原因として取り上げます。



大日本海路圖

No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
1-1	『大日本海路圖』	版本	[江戸中期]	江戸時代に刊行された唯一の全国版海路図。東南・西北の2巻に分かれている。南洋濠方角之圖として江戸一大阪間の航路も載っている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407967
パネル	『The history of Japan』by Engelbert Kaempfer ; translated by J.G. Scheuchzer	版本	1728年	ドイツ人医師ケンペルが江戸時代初期に来日し、日本のことを綴った書物。1727年に英語に翻訳されたものが出版された。蘭学者の志筑忠雄はオランダ語版を訳したとされている。	貴重書庫 (社会科学系図書館) *未掲載につきID無
パネル	『鎖国論』検夫[ル]著 ; 志筑忠雄訳	写本	1804(文化1)年序	志筑忠雄がケンペルの「日本誌」附録第六篇『The history of Japan』Appendix VI)を日本語に訳した書物。「鎖国論」と抄訳したことで、19世紀頭に鎖国という言葉が生まれた。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407692
パネル	『浪華の賑ひ』鶏鳴舎暁晴翁編輯	版本	1855(安政2)- 1863(文久3)年	江戸時代の大坂名所案内記。パネルには安治川口に多数の廻船が停泊しにぎわう様子を掲載。画面右に大きく描かれた船尾の姿から、舵とそれを覆う外楯(そとども)と呼ばれる和船独特の構造がよくわかる。	小林文庫(人文科学 図書館)ほか ID:0100404967
パネル	『漂流人口書写』	写本	[江戸後期]	「漂流口書」と通称されるタイプの漂流記で、鎖国令を破った漂流民を幕府の役人が取り調べた調書。漂流民が語った供述から漂流に関する情報を読み取ることができる。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407576
1-2 (前期)	『廻船安乗録』服部義高著	版本	1810(文化7)年	船頭であった服部義高が自身の体験をもとに著した航海術書。パネルには元船(和船のなかでも付属の小船を持つ大船のこと)の構造図の箇所を掲載。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407892
1-3 (後期)	『南甌記』枝芳軒主人著	版本	1798(寛政10)年	奥州・大乗丸の安南(現在のベトナム)への漂流記。パネルには遭難して帆柱を切り落とした後の和船の図を掲載。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100406273
パネル	『和漢船用集』金澤兼光著	版本	1827(文政10)年	和漢(日本と中国)の船についての事典的な解説書で和船の解説が主。船体各部や舵・帆等の用具類、船大工道具についても技術的に解説されている。パネルには造船の風景と帆・舵・舵柄の図を掲載。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407818
パネル	『長崎聞見録』廣川辨著	版本	1800(寛政12)年	長崎の習慣・風俗を挿絵入りで紹介した見聞記。パネルにはオランダ船と称する洋式帆船の図を掲載。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100406269 *
パネル	『攝津名所圖會』秋里籬島著	版本	1796-1798(寛政8- 10)年	摂津国の名所・旧跡の観覧案内書。緻密な挿絵は竹原春朝斎による。パネルには、『浪華の賑ひ』の掲載箇所と同じく安治川口に多数の和船が入津する図と、陸地の目印となる高燈爐(たかとうろう)の姿を掲載。	貴重書(総合・国際 文化学図書館) ID:0100405123
1-4	『改正日本船路細見記』美啓編	版本	1851(嘉永4)年	従来の航海書の重要部分を抜粋して編纂した書物。日本全国の航路図や、船針盤(ふねじしやく)の図なども掲載されている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407086
パネル	『日本輿地路程全圖：改正』	地図	1775(安永4)年序	江戸時代の日本地図。掲載箇所は、漂流が頻発した遠州灘と黒瀬川(現在の黒潮)の部分。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407986

メタデータIDに*を付したものはデジタルアーカイブに画像データ未掲載

2. アジア地域への漂流

アジアに漂着するケースでは、鎖国下でも漂流民送還制度が維持されていた中国や朝鮮を経由して帰国する事例が見られる一方、フィリピンへの漂着では、スペインによる領有の前後で帰国までの道のりが大きく変化しました。朝鮮とフィリピン・バタン島への漂流体験を、漂流者本人が著した日記や、帰国後の聞書などを元に紹介します。

朝鮮漂流日記



No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
2-1	『船人漂流記』	写本	1830(文政13)年写	今回取り上げたのは2作所収のうちの1編。1692(元禄5)年9月に江戸を出船した尾張国知多郡大野村の船が伊豆半島沖で嵐にあい、約1か月後にバタン島に漂着したのち、故郷へ帰還するまでの波乱万丈な約2年間について記されている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407570

No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
2-2	『巴旦國漂流記』	写本	1844(天保15)年写	1830(文政13)年に岡山から江戸に向かう途中で嵐に遭い、フィリピン・バタン島に漂着した岡山藩の廻米船・神力丸について、目付役として乗船していた武士、片山栄蔵からの問書の写本。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407577
2-3	『朝鮮漂流日記』安田義方著；高木元教編	写本	1824(文政7)年跋	薩摩藩士・安田義方が、赴任地の沖永良部島から薩摩への帰路で朝鮮へ漂流した体験をまとめたもの。漂流の苦しさや恐ろしさだけでなく、漂着先で出会った人々との親しいやり取りなどが、彩色された挿絵と共に記録されている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407959
パネル	『字彙』(明)梅膺祚音釋	刊本	1787(天明7)刊	1615(萬曆43)年に、明の梅膺祚が編集した漢字字書を、日本国内で本文に返り点やカタカナによる読みなどを施して刊行したもの。安田義方が所持していた「頭書字彙15冊」も、同様の書物だったのではと推測される。	人間科学図書館※ ID:0100405033

3. ロシアを見てきた漂流民

18世紀後半、領土の拡張を進めるロシア帝国は日本航路の開発と通商にも関心を示し、日本近海にロシア船が頻繁に現れるようになっていました。そんな時代にアリューシャン列島に漂着し、ロシアの地を踏破して帰国した事例から、大黒屋光太夫で知られる「神昌丸」と、乗組員が世界1周を果たした「若宮丸」に関する資料を紹介します。

魯西亜國漂流記



No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
3-1	『漂民御覽之記』[桂川甫周誌]	写本	[江戸後期?]	1793(寛政5)年9月、ロシアから帰国した光太夫と磯吉(水夫)は、將軍家斉の上覧の中で、吟味にあたった松平定信等からロシアでの見聞の他、帰国した理由やロシア語習得の程度などの数々の尋問を受けた。その際の間答をまとめた資料が『漂民御覽之記』である。多数の写本が現存しており、展示する3点はいずれも同書の写本である。著者は、その日進行役を務めた幕府奥医師の桂川甫周。桂川家は代々幕府のオランダ外科医を勤め、甫周は『解体新書』の翻訳事業に最年少者として参加するなど優れた蘭学者でもあった。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100406397 *
3-2	『魯西亜國物語』	写本			住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100406402 *
パネル	『魯西亜國漂流記』桂川甫周筆記	写本	文化11(1814)		住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407575
3-3	『洋北異譚』	写本	嘉永5(1852)[写]	神昌丸の漂流から帰国後の光太夫と磯吉の処遇までが記されている。故郷へ返さず、江戸に差置くと、月々の手当として光太夫へ金三両、磯吉へ金二両が支払われること、外国のことをみだりに物語らぬことが申し渡された。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407572
3-4	『環海異聞』大槻茂質編[16冊本]	写本	[江戸後期]	日本人初の世界1周をした若宮丸漂流者たち(仙台漂流民)の漂流、旅、その間の見聞を書きしてまとめたもの。仙台藩の医学者・蘭学者であった大槻玄沢が、儒学者の志村弘強と共に編集した。15巻と序例附言の計16巻からなり、当館所蔵の16冊本は1巻1冊、8冊本は2巻1冊でまとめられている。当館所蔵の3点は写本ながらいずれも挿絵には彩色が施されており個性豊かである。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407551
3-5	『環海異聞』大槻茂質編[8冊本]	写本	[江戸後期]		住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407351
3-6	『環海異聞』大槻茂質撰[5冊本]	写本	江戸期[18--]		住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407352

メタデータIDに*を付したものはデジタルアーカイブに画像データ未掲載



海外異聞

4. 太平洋を渡った漂流民

北西季節風の影響を受け太平洋岸で遭難した人々の中には、長期間の漂流を経て外国船に救助され、アメリカ大陸に上陸した者もいました。異国の文化に触れ、教育を受け、帰国後は日本と外国の架け橋となるべく活躍したジョン万次郎やジョセフ・ヒコをはじめ、様々な経路を辿り日本に戻ってきた彼らの漂流記を紹介します。

No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
4-1	『漂流譚』鈍通子記録	刊本	[1853(嘉永6)年]	本文冒頭の書名は『大日本土佐国漁師漂流譚』。本書は表紙がなく、標題紙の相当する1頁目には「アメリカ 漂流譚 土佐國中濱漁師満次郎」と書かれている。刊行された万次郎の漂流譚の1つ。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407562

No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	所蔵館・メタデータID
4-2	『漂流始末聞書』	写本	[書写年不明]	万次郎の取り調べ後に記録されたものの写本の一つ。パネルに掲載するのは蒸気船の図の箇所ので、「此図萬次郎自筆ニテ図之有之其俣ノ写也」と書かれている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407564
4-3	『海外異聞』霧湖漁叟撰	刊本	1854(嘉永7)年	栄寿丸の乗組員初太郎を徳島藩が聴取して編纂した『亜墨新話』から、識語と序文を除いて、『海外異聞』と題し刊行されたもの。彩色豊かな図が多数見られる。パネルには初太郎の辿った経路が示された地図を掲載。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407336
4-4	『漂流人異國物語』	写本	1846(弘化3)年	船頭の善助の取り調べによるもの。「申口 紀州口熊野周素見浦 百姓久五郎 仲善助」とある。スペイン語の読みと表記が載せられている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407565
4-5	『漂流記』	版本	1863(文久3)年	浜田彦蔵のアメリカ漂流体験談を記したもの。日記体の漂流記録と、アメリカの政治・法律・保険制度や、婚礼・祭日・遊戯などの文化について絵入りで説明された漂流記餘話の二部構成となっている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407560
4-6	『漂流異譚開國之滴』ジョセフヒコ原著；土方久徴翻譯	刊本	1893(明治26)年	彦蔵の英文自伝『The Narrative of a Japanese』上巻は、後の日本銀行総裁土方久徴が翻訳し、『漂流異譚開國之滴』として博文社から出版された。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407585
4-7	ジョセフ=ヒコ肖像	写真	1963(昭和38)年 近盛晴嘉著；日本歴史学会編『ジョセフ=ヒコ』より	リンカーン大統領と面会した1862(文久2)年頃にアメリカで撮影したとされる。	経済経営研究所図書館 *未掲載につきID無
4-8	『船長日記』池田寛親識[3冊本]	写本	[書写年不明]	尾張廻船督乗丸の船頭重吉の484日間にわたる太平洋漂流談を、三河新城藩家老で国学者の池田寛親が聞き取ってまとめたもので、世界最長の漂流記とされる。1813(文化10)年に始まる督乗丸の漂流と、英国船フォレストアー号に救助されアラスカ・カムチャツカ・択捉島などを経て故郷半田村に帰着するまで、死没した船員12名の供養碑建立に至る三部構成になっている。巻数の異なる約40種の写本が各地に存在し、微妙な言い回しや序文・跋文・長歌の有無、挿絵などにそれぞれの持ち味が表れている。	住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407563
4-9	『船長日記』池田寛親識[5冊本]	写本	[書写年不明]		住田文庫 (社会科学系図書館) ID:0100407571

「神戸大学附属図書館 デジタルアーカイブ」について

<https://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/25990/>

本学の所蔵資料などの知的資産や教育・研究成果を電子化して、インターネットを通じて広く世界に発信するものです。本年8月にリニューアルし、スマホ・タブレットからもご利用いただきやすくなりました。今回の資料展で紹介した資料は「貴重書・特殊コレクション」に収録されており、その多くは本文画像も御覧いただけます。

「貴重書・特殊コレクション」へのQRコード



The screenshot shows the website interface for '貴重書・特殊コレクション' (Special Collections). A search bar contains the ID '0100407892'. Below the search bar, there are filters for '資料種別' (Book (1)), '出版年' (1810 (1)), and '元号' (文化 (1)). A red box highlights the search results, and a red arrow points to the '船長安乗録 / 船頭重吉 著' (Shunchanroku / Captain Shigeaki) entry. Another red arrow points to the '画像あり' (Image available) checkbox.

The screenshot shows a digital image viewer displaying a scan of a book cover. The viewer includes a navigation pane on the left, a central image area, and a right-hand pane with a thumbnail strip. The URL in the address bar is 'https://hdl.handle.net/20.500.14004/0100407892'. The viewer is identified as 'UV Universal Viewer'.

「貴重書・特殊コレクション」ページにて、目録に記載したメタデータIDを入力して検索すると、資料のデータが表示されます。

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/sc/>

編集・発行: 神戸大学附属図書館 2022(令和4)年 10月 14日 発行

問い合わせ先: 情報サービス課 情報リテラシー係

Tel: 078-803-5313 Fax: 078-803-7355 e-mail: literacy@lib.kobe-u.ac.jp URL: <https://lib.kobe-u.ac.jp>